

## 袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	令和2年12月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	令和2年12月25日(金)午後1時30分
会議時間	午後1時30分から午後3時00分まで（1時間30分）
場 所	教育会館3階 ICT研修室
出 席 者	鈴木一吉 教育長 上原富夫 委員 大谷純應 委員 瀬川香織 委員 鈴木万里子 委員 (計：5人)
欠 席 者	無し
傍 聴 者	無し
当局出席者	伊藤秀志 教育部長 山本裕祥 教育監 長谷川修一 教育企画課長 小鷹義晴 おいしい給食課長 大庭英男 すこやか子ども課長 加藤邦夫 育ちの森所長 金田裕之 学校教育課長 村田秀明 生涯学習課長 山本義孝 歴史文化館長 野村浩二 袋井図書館長 大庭尚文 教育企画課長補佐兼幼小中一貫教育推進室長 小池信良 教育企画課教育総務係長 (計：12人) (合計：17人)
会議に付した 事件	別紙「令和2年12月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

## 令和2年12月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：令和2年12月25日(金)  
午後1時30分開会  
場所：教育会館 ICT研修室

### 会 議 日 程

#### 日程第1 開 会

#### 日程第2 会議録署名委員の指名

#### 日程第3 会議録の承認

#### 日程第4 教育長報告

#### 日程第5 教育部月例事業報告

#### 日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

##### （1）報告事項

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 報第105号 | 市税等収納強化月間の取組について（おいしい給食課）     |
| 報第106号 | 市税等収納強化月間の取組について（すこやか子ども課）    |
| 報第107号 | 令和2年度袋井市平和学習実施報告について          |
| 報第108号 | 「英検チャレンジ」事業の開催状況について          |
| 報第109号 | 令和2年度袋井市コミュニティ・スクール推進研修会について  |
| 報第110号 | 令和2年度中学生未来会議について              |
| 報第111号 | 令和2年度市民文化芸術活動支援事業の実施結果について    |
| 報第112号 | 令和3年度袋井市立図書館の休館日の変更等について      |
| 報第113号 | 幼稚園薬剤師の解嘱又は委嘱について             |
| 報第114号 | 寄附品の受納について                    |
| 報第115号 | 令和3年袋井市成人式の開催について             |
| 報第116号 | GIGAスクール構想に対応した小中学校のICT環境について |

#### 日程第7 その他

##### （1）連絡事項

- ア 令和2年度 袋井市教育施設等3Rプロジェクトの更新について
- イ 学校給食週間特別企画「mini 袋井市学校給食展」の開催について
- ウ （仮称）袋井南認定こども園の名称決定について
- エ 令和2年度子ども自然観察教室の実施結果について

オ 令和2年度 市民文化活動推進事業（静岡理工科大学連携事業）の実施結果について

カ 第17回袋井市子ども読書活動推進講演会について

キ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」令和3年1月号

## **（2）次回定例会等の予定について**

ア 第3回袋井市総合教育会議

1月20日（水） 午後1時30分～ 市役所4階 庁議室

イ 1月教育委員会定例会

1月29日（金） 午後1時30分～ 教育会館 ICT研修室

## **（3）その他**

### **日程第8 閉会**

#### **1 開会**

##### **●鈴木教育長**

ただ今から、令和2年12月袋井市教育委員会定例会を開会いたします。  
議事がスムーズに進行できますよう、御協力をお願いいたします。

#### **2 会議録署名委員の指名**

##### **●鈴木教育長**

袋井市教育委員会会議規則第16条第2項の規定に基づき、大谷委員 及び 鈴木委員 を指名いたします。

#### **3 会議録の承認**

##### **●鈴木教育長**

11月定例会の会議録について承認されています。

#### **4 教育長の報告**

##### **●主な報告事項**

- ・11月市議会定例会
- ・浜松視覚特別支援学校視察

その他は資料のとおり

#### **5 教育部月例事業報告**

##### **●教育企画課**

- ・教育会館 開館式典 (11月16日)
- ・第3回袋井市総合教育会議 (1月20日)
- おいしい給食課
  - ・第1回袋井市学校給食調理・配送等業務等受託者選定委員会 (12月25日)
  - ・学校給食週間特別企画「mini 袋井市学校給食展」 (1月23～30日)
- 学校教育課
  - ・定例校長会 (11月10日、1月7日)
  - ・算数検定 (11月13日)
  - ・令和2年度袋井市平和学習 (11月26・27日)
  - ・令和2年度中学生未来会議 (1月25日)
  - ・令和2年度袋井市コミュニティスクール推進会議 (1月28日)
- すこやか子ども課
  - ・定例園長会 (11月11日、1月13日)
  - ・アクティブチャイルドプログラム事業 (11月13・25日)
  - ・幼稚園運動会(若葉幼稚園) (11月14日)
  - ・第2回放課後児童クラブ支援員等研修会 (12月15日)
  - ・保育士さんの働く職場説明会&セミナー (12月16日)
  - ・定例保育所長会 (1月14日)
- 育ちの森
  - ・はぐ茶会 (11月18日)
  - ・第1回子ども支援研修会 (11月19日)
  - ・ひまわり 遠足 (12月4日)
  - ・はぐ茶会 (12月18日、1月20日)
  - ・ひまわり 参観週間 (1月18～22日)
  - ・第2回子ども支援研修会 (1月29日)
- 生涯学習課
  - ・第3回社会教育委員会 (11月11日)
  - ・袋井図書館開館50周年記念事業 記念講演会 (11月14日)
  - ・コミセンDEお理工塾 (11月22日)
  - ・子ども自然観察教室「化石教室」 (11月28日)
  - ・東京藝大交流事業「彫刻をつくろう」 (12月5日)
  - ・令和2年度歴史講演会「わが国の禅宗のはじまり」「風水思想の世界」 (11月27日、12月18日)
  - ・第1回文化財保護審議会 (12月24日)
  - ・令和3年袋井市成人式 (1月10日)

## 6 議事

### 【報告事項】

#### （1）報第105号 市税等収納強化月間の取組について（おいしい給食課）

##### ●おいしい給食課長

本市が定めております11月の滞納整理強化月間に合わせまして、給食費の収納の取り組みを行いましたので、ご報告させていただきます。対象者は、10月末時点の過年度分給食費滞納者で、保護者の数で11名、実児童生徒で13名となります。具体的な内容ではありますが、まずは文書による徴収依頼を小中学校、幼稚園等に行いました。内容につきましては、未納者の収納に向けた早めの対応をお願いしました。

また、就学援助制度や児童手当からの引き去り制度の活用のご案内を行ったところであります。現在は、小学校等で収納事務をお願いしていますが、私たちも一緒になって取り組むことを学校と協議してきました。

次に、学校訪問による徴収依頼ではありますが、対象となる児童生徒が在籍する小中学校を直接訪問し、教頭先生と事務職員と面談の上、滞納情報の共有化や今後の対応について協議してまいりました。

取組の結果ではありますが、期間中の過年度分給食費の収入額は3千円であり、昨年度と同額となります。学校訪問したことにより管理職である教頭先生が、自校の滞納状況や収納の取り組みについて、理解していただいたことが成果であったと考えています。

また、4校とも学期末の三者面談の際に、改めて保護者への督促を行うとともに、必要に応じて、おいしい給食課への相談やサポート要請を検討したとのことでありました。実際に、外国人世帯への児童手当制度の説明のため、学校側が行う12月18日の保護者面談時に、おいしい給食課も同席しました。期間中の収入額は、3千円でありましたが、この1か月の取組において、学校との情報の共有化が図られたものと考えております。

まずは、現年分の未納額をなくすことが大切でありますので、本年度の未納を発生させない取り組みを学校とともに進めていきます。

### 〔質疑・意見〕

なし

## (2) 報第 106 号 市税等収納強化月間の取組について (すこやか子ども課)

### ●すこやか子ども課長

すこやか子ども課でも、おいしい給食課と同様に、11月の1月間を滞納整理強化月間ということで、保育所保育料、幼稚園保育料及び幼稚園預かり保育料の滞納整理を行いましたので、その結果につきましてご報告申し上げます。

実施期間であります、令和2年11月2日から11月30日の1か月間に行いました。

対象者であります、主に過年度分、平成27年度から令和元年度分の保育料を滞納している方で、約束した期日までに納付がされていない方です。

対象件数としまして、81件で、保育所保育料が50件、幼稚園保育料が31件です。

次に、滞納整理実施件数及び滞納整理実績であります、対象件数81件のうち、納付が28件、児童手当を充当していただいた方が5件、それから納付約束をしていただいた方が11件です。また、差押予告を送付した方が8件です。

次に、滞納整理における納付額の実績であります、こちらは11月30日時点で、対象者未納額が1,132万円余でありまして、徴収目標額を130万円としておりました。これに対しまして、予告効果・自主納付が18万5千円余、滞納整理により徴収できたものが107万3千円余、こちらには児童手当の充当の同意分も含まれております。納付合計としましては125万9千円余ということで、徴収目標額に対する収納率としては96.86%でありました。保育所保育料は、目標額に6万円ほど届かなかった状況でありました。幼稚園保育料は、目標額よりも2万3千円ほど多く徴収できました。未納額に対する収納率としましては、本年度11.12%で、前年度が14%でしたので、前年並みで微減という状況です。

次に、事業効果であります。初めに保育所保育料ですが、催告書発送後に架電または訪問し、納付及び児童手当からの充当を依頼しました。連絡が取れない滞納者に差押最終予告書を送付いたしまして、こちらが8件ありました。その結果、22万1千円余の納付があり、児童手当からの充当が17世帯分で91万4千円余でありました。

次に、幼稚園保育料及び預かり保育料ですが、こちらも催告書発送後、連絡等がない方に対して架電または訪問しまして、納付及び児童手当からの充当を依頼しました。また、在園児については、園を通して催告書の交付及び交付後の納付確認を行い、外国人滞納者に対しては通訳を介して架電しました。こちらは4件で、8万8千円余の納付があり、児童手当からの充当が3世帯分の3万5千円余でありました。

今後の対応であります、催告書や納付依頼通知を定期的を送付しまして、滞納整理の強化月間に限らず1年間を通して、滞納整理に取り組んでまいります。

また、公立施設の利用者については、必要に応じて、園長・所長を通じて滞納者と面談して、納付や児童手当からの充当の依頼を引き続き、強化していきたいと思えます。

[質疑・意見]

なし

### (3) 報第 107 号 令和 2 年度袋井市平和学習実施報告について

#### ●学校教育課長

本事業は、子どもたちが平和を願う意識を涵養する、或いは平和への思いを継承していくことを目的に、11月26・27日に実施しました。講師は、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の被爆体験伝承者であります、大中伸一様です。昨年度、子どもたちが広島に派遣した時に、この方にお話をいただいて、大変良かったということで依頼しました。子どもたちの感想から実施の狙いを実現できたものと捉えています。

教員側の感想としても、この学習に意義を感じた教員が多かったものと捉えております。

今年度、初めて被爆伝承者を招いた事業を実施しましたが、本学習は大変意義があるものと考えましたので、次年度についても計画してまいります。

[質疑・意見]

#### ●瀬川委員

最近、広島記念館がリニューアルされて、衝撃的な展示物は展示しなくなったと聞きました。元々、長崎の方が、広島よりリアルな展示物があり、私自身もショックを受けました。しかし、先日、娘が高校の修学旅行で長崎の記念館を訪れた際に、展示物が変わっていたと言っていました。リアルな展示物が排除されていくことは、違う議論になりますが、このように、語り部の方が来てくれて生の声を聞くということは、リアルな展示物をオブラートに包むような時代の中で、意義があることであり、重要な経験と考えていますので、続けていただきたいです。

#### ●学校教育課長

大変意義がある活動と捉えておりますので、継続していきたいと思えます。

#### ●鈴木教育長

私も聞きましたが、非常によかったです。子どもたちも真剣に聞いていました。

#### ●瀬川委員

資料の中に、事前学習の様子の写真がありますが、このように準備をして講話に臨むことは、良いことだと思えました。

#### (4) 報第 108 号 「英検チャレンジ」事業の開催状況について

##### ●学校教育課長

本年度で5年目になります。子どもたちの英語を使ったコミュニケーション力の向上を図ることに取り組んでいます。参加料は1千円で、残りは市が委託料で負担し、チャレンジしやすい事業となっています。本年度の実施状況ですが、昨年度と比べますと、小学校で19人減少し、中学校はほぼ同様でありました。実施当初と比べれば、人数が増えているところですが、本年度につきましては、人数が少し足踏みしたところでもあります。

次に、成果と課題であります。5年間を考えてみれば、参加者は増加傾向ですが、今年度に減少したことを改善していくことが課題と考えています。特に小学生が減ったことにつきましては、夏休みはイングリッシュ・デイキャンプが実施できなかったことや、申込形式をWebフォームにしたこと、申込期間が夏休み中になったことから、戸惑いがあったものと感じているところでもあります。

また、本年度は中学生の合格率が高くなりました。市内中学校の最終合格率が72.1%で、昨年度の64%に比べると8%増えたこととなります。少し力を付けてきたことに繋がっていると捉えています。

今後の取り組みですが、今後も継続していきたいと考えております。浅羽学園の子どもたちの参加者が、他の学園に比べて少ないという傾向がありますので、浅羽学園においても昨年度に実施したイングリッシュ・デイキャンプを継続していくことと、或いは学校からの声掛けについて、よりALTと連携した働きかけをより強化していきたいと考えているところでもあります。

##### [質疑・意見]

##### ●上原委員

この英検チャレンジで、子どもたちの英語能力を向上させて広げようという意図はよくわかりますし、今後も続けていきたいという感じがありますが、大きな視野で見て、英語を学習するという気風を市内に広げる一助になる方法として、親子で一緒にチャレンジできるようなシステムを考えられないかと思います。

家庭の中でも、英検の話が出てきたり、親が率先して勉強している姿を見せることで、何かしらの良い影響がありそうな気がします。家庭の中での英語教育という見方から、何か検討していただけたと思いました。

##### ●学校教育課長

ありがとうございます。来月報告予定の漢字検定・算数検定につきましては、市で実施している検定にプラスして、昨年度は山名小学校で1回追加し、今年度も、周南のたちばな学

園で、地域が主体になって行うという広がりもあります。同様のことが、この英検でも広まっていくと良いと思っています。

それにつきましては、一つは、地域とともにある学校づくり、学校と地域がこれまで以上に相互理解をして、共同して物事に取り組むようなことが進んでいくとよいと思っています。その点につきましても、幼小中一貫教育の推進とともに考えていきたいと思っています。

#### ●鈴木委員

各年の受験者数を見て、実際に裾野がどのくらい広がっているのか、結局、小学校の段階で受けた子が中学校でも受けるので、小学生の裾野が広がっているのかどうか。特に小学生で2級を受ける子は、ほっといても受けますが、市としての英語力を高めていくのであれば、その部分の裾野をどのように見ていくのが必要であるかと思います。市として、中学校卒業の時に、目安として挙げられている3級程度を何%到達できるのかとか、そこに向けて働きかけをどのようにしているのか、実施から5年が経過しているため、検討していく必要があると思いました。本年度は、イングリッシュ・デイキャンプがなかったが、英語が新学習指導要領で教科となったので、学校としての取り組みが、小学校でも変わっている中で、それでも受験者数が減っているのはどうしてか確認していく必要があると思います。

#### ●学校教育課長

小学校の減少については、新学習指導要領が完全実施になった中でも減少していることについて、明確な分析する材料はありませんが、今後、確認を進めていきたいと思っています。

もう一つ、英検3級程度の英語力を有するということについて、全国や県の数値を見ますと40%ぐらいが限界となっています。本市は当初60%と高い目標を立てて取り組みましたが、なかなか向上しないし、全国的に見ても40%を超える自治体はほとんどないことから、目標の見直しながら進めていこうと考えているところです。全国や県の上位クラスの割合にしていきたいと考えています。

#### ●鈴木教育長

同じ子どもが受けているという意見は、確かにそうかもしれないと思いました。

#### ●瀬川委員

上原委員の親子でチャレンジという話の補足で、先程、漢字検定の話がありましたが、回覧版の中に、一般の方も受検しませんかというチラシが入っていて、いいことだと思いました。あと、周南中学校での読み聞かせの時に、平野校長が来てくれて、読み聞かせのお母さんたちにも、漢字検定のご案内を校長先生が自らしていて、そのような先生方の草の根の努力や気持ちが徐々に浸透していくと良いと思いました。

#### ●学校教育課長

そういう事例などは、また見つけてきますが、どういう段取りで、それを実施したのかというところについて、情報共有できるように進めていきたいと思っています。

## (5) 報第 109 号 令和 2 年度袋井市コミュニティ・スクール推進研修会について

### ●学校教育課長

袋井市コミュニティ・スクール推進研修会につきまして、本年度は8月の開催をコロナの関係で延期し、2月の開催としました。現時点での開催になりますので、今後につなげていくというところを大きな目的にしたいと思っています。

目的の1つ目として、コミュニティ・スクールの活動の紹介とあります。これにつきましては、これまでのコミュニティ・スクールでも紹介をしてまいりました。先程少し申しましたが、こんないい実践があるというところだけでなく、その実績が生まれるまでに、どんな経緯があり、或いはどんな取り組みをしたので、そのような結果になっているのかというところを紹介していきたいと思っています。事例につきましては、今担当が考えているところですが、候補としては、これまでの紹介している袋井北小学校の「ともえサポーターズ」や、周南中学校などの取り組みがあります。

次に目的の2つ目として、これまでは学校ごとのコミュニティ・スクールでしたが、学園ごとという視点も持って取り組んでいく必要があります、その点について、取り組みの推進に繋がるような話ができればと思っています。

内容ですが、日時は1月28日(木)の午後に、教育会館の大会議室で行います。参加者は、コロナの関係で絞ること考えており、学校運営協議会委員が各校1名、小中学校教職員が各校1名、コミュニティ・スクール・ディレクター4名、後は事務局ということにします。なお、全体会につきましては、各学校へリモートで配信を行いまして、ここに参加しなかった委員や教職員が視聴できるよう考えています。

当日の詳細ですが、全体会と分散会を行います。全体会では事務局の方から様々な事例を紹介していきたいと思えます。分散会は、学園ごとに行い、1つの推進に繋がるテーマ「地震災害から子どもの命を守る」として、本当に災害から守る、或いは中学生でいくと、今度は守られるのではなく、守る立場にも活躍が期待できる場所でもあります。そういうことも含めて、学校、地域が一体となって、進めていくというようなどの話し合いが発端になればと思っています。

このような内容で、本年度のコミュニティ・スクール推進研修会を実施したいと考えております。

[質疑・意見]

なし

## (6) 報第 110 号 令和 2 年度中学生未来会議について

●学校教育課長

本事業については、例年8月に実施していましたが、今年度につきましては年度の後半に行うことを計画していました。その理由については、子どもたちが各学校の学習で学んだことを発表していく、プレゼンする内容にして、そこで、子どもたちの情報活用能力やプレゼンテーション能力、また今年度はICT機器が入りましたので、タブレットを使って発表することなど、様々な経験をさせたいからであります。

次に日程ですが、1月25日（月）の午後で開催し、中学校ごとの発表になります。

参加者は、校内発表会等を経て選抜された中学生で、今年度は、学習したことを発表するので、各中学校で事前に選抜した中学生となります。

次に実施方法ですが、コロナ対策ということで、今年度は、中学生の発表は各中学校で行い、リモートでそれを共有するという形にしていきたいと思っております。そのため、会場については、各中学校と教育会館ICT研修室になります。教育委員の皆様につきましては、この様子を参観されるようでしたら、ここで参観していただくこととなりますので、よろしくお願いたします。また、各中学校の発表テーマにつきましては、資料のとおりであります。

その他になりますが、幼小中一貫教育の視点から、中学生の発表の様子を小学生や小学校教員も見れるように、今年度については配信をしていきたいと考えています。

また、中学生につきましても、相互に他校の発表を見る、発表者だけが見るのではなくて、例えば、1学年全員がタブレットを準備して、各学校の発表の様子を視聴するというようなことを考えていきたいと思っております。

さらに、質疑応答につきましても、これまでは、その様子を見ていただいた参加者や事務局職員等でしたが、中学生同士がお互いに意見交換できるというようなことも視野に入れて、今回については行っていきたいと考えております。

このように、子どもたちが学習成果を発表する場とすること、お互いに見えて意見交換もできるといいかな、そして幅を中学生だけではなくて、小学生、将来的には高校生も含めた形の行事になることを考えて推進していきたいと考えております。

[質疑・意見]

なし

●大谷委員

リモート以外は、新型コロナに関係なく、こういう形に変わったということですが、これは次年度以降も踏襲されていくということでしょうか。

●学校教育課長

はい。基本的には中学生の学習を発表する。情報活用能力を高めていくことを、大きな狙いにした発表としていくことと考えています。

●大谷委員

従来の未来会議の主たる目的はどうでしたか。

●学校教育課長

市政に関する提言のようなものが、スタートでありました。

●大谷委員

大きく目的が変わってきていると思いますが、その本来の目的であるところは、完全に消しされている中で、当然、プレゼン能力が実際に活用されることや、或いはその手法に慣れることは、大切なことだと思います。しかし、それはそれとして、子どもたちがまちづくりや市政に対して、積極的に関わることや興味を持つことも、非常に大きな意義あることではないかと思います。当然、今の目的が駄目ということではないですが、今まで継続されてきたものが無くなるのであれば何らかの説明をしていただきたいと思います。致し方ないと思いますが、その点については、また今後、十分ご検討いただければと思います。

●学校教育課長

今考えていることは、市政に対する提言がいらないということではなくて、それも一つの子どもたちの学習になり得ることは十分考えているところです。発表会形式にしたというのは、多くの子どもたち、できれば学年全部の子どもたちが、学習をとおして発表できるプレゼンを作っていくことを考えています。この未来会議の場では代表になりますが、それまでに、校内でお互いのプレゼンを見合う、発表し合う、意見交換し合うという経験を大切にしたいと考えまして、どの子もプレゼン作りから参加していくところに主眼を置いています。

●大谷委員

そのことは分かりますが、本来、まちづくりに対する思いや考え方の提言自体がプレゼンであって、それは個人の意見が反映されるということではなくて、我々の社会の中では、代表者（議員さんなど）が意見を述べられる社会ですから、本来であれば、みんなで話し合ったことを誰か代表して述べていくことも、プレゼンの方だと思います。

決して、今の方法を変えろとか止めろと言うことではなく、今の方法を存続していくのであれば、今までの方法をどこかで踏襲されたい。無くなるということは、不必要であるから無くなるのであり、それについて説明をする必要があるし、そうでなければ、何らかの形で、続ける方法を取っていただきたいと思いますという趣旨のお願いです。

●学校教育課長

その具体的なことにつきましては、また検討していきたいと思います。

●鈴木委員

テーマについては、完全に各学校に任せているのですか。

●学校教育課長

はい。

●鈴木委員

今、大谷委員が言われたように、市政について、ある程度未来会議ということ踏まえながら、各校でテーマを考えるようお願いしているのか。何か各学校のテーマについて、少し違和感がある。

●大谷委員

会議というより発表会である。お互いに話をして、意思疎通が図られるのが会議である。

●山本教育監

現状をお話ししますと、今まで夏に開催していましたので、得だして子どもたちは、学校で何か実施していたことを報告していましたが、それを1年後にすることによって、学校は元から総合的な学習で実施しているテーマがあったので、それを載せるためにはそこに、新たなものをもう1回組み直してくれることが、まだ頼みきれないため、今までの総合的な学習のことを、最後、今回の発表会に持っていったということです。事務局の方の進め具合が、学校の方と合っていなかったため、今回は少しイレギュラーな形で、寄せ集めた提案になっています。市政について考えることは、学習指導要領の社会の中で実施しているので、それ自体は、他の地域と劣るわけではないですが、それを大谷委員が言われたように袋井市として選択して、実施する、しないはもう少し時間をいただいて、学校教育課でもう少し練った上で、未来会議を設定し直すことになります。

●大谷委員

わかりました。特に今年は、いろいろ特別事情がありますので、その部分は十分理解できますが、子どもたちが、様々な形でまちづくりに関わっていくことは、非常に大切なことで、勉強するだけでなく、自分の提案が何らかの形で実現していくことは、自己有用感であったり、或いはこの社会において、自分たちの存在意義を十分発揮してそれが形になるというのは非常に重要なことだと思うので、そういう意味では、再度ご検討をお願いします。

●上原委員

私もこの内容に違和感を感じています。何年か前から市役所の議場で、市長をはじめ、議員や職員も参加し、中学生の質問に部課長が答弁するスタンスで実施してきました。一番大きな狙いは、子どもたちに、市政や市民の暮らしに視点を当てて興味や関心を持ってもらいたい中で、子どもたちが自ら学習する中身がどう関わっているかの気づきを期待していたと思います。逆に、市長さんや市職員、議員さんに見てみたら、自分たちが日々活動している市政の中身を子どもたちがどんな風に見ているのか、どんな疑問を持っているのかという期待もあったと思います。その場で見えていた私たちも、子どもたちは、こんなこと考えているのだと、結構面白い気づき、驚きを感じられる場でありました。そういった感触がなくなってしまうような中学校の子どもたちへの提案というか、テーマの投げかけを、もう少し明らかにした方が、良いような気がします。別に市政に関することばかりではなく、今回のテーマである地域を知ることや、職業を知ることが、大変重要なことであり、中学生の自

分の未来と直結している項目でもあると思うので、はっきりと言い切って上げた方が、子どもたちにとっては、わかりやすい学習の機会になるのではないかと思います。

全学年の全児童がこれに参加できるかという点、そんなことはないと思うので、その中で、選抜された人たちが一生懸命考えて、準備してくるものだと思うので、今回の提案の中身を見ただけでは、子どもたちがどのように発表するのか、勉強するのかな、垣間見えないというのが、私の意見です。さらに検討すべきところがあると思います。

●学校教育課長

特に発表テーマについて、ご意見をいただいておりますので、中学生の学校での学習内容も踏まえながら、これまでの繋がりも踏まえて検討したいと思います。

●大谷委員

今年度は、この内容で準備をしていると思いますので、年度以降で結構です。

●鈴木教育長

今の意見をもとに、今後の未来会議をどのように運営していくか検討させていただきます。市長以下、市の幹部や議員さんも聞いていただいているので、少しあり方を考えていきます。

## (7) 報第 111 号 令和 2 年度市民文化芸術活動支援事業の実施結果について

●生涯学習課長

初めに目的であります、コロナウイルス感染症拡大の影響によりまして、文化芸術活動の発表の場や、文化施設などで文化芸術を楽しむ機会が減少している現状があります。そのような中、活動の縮小や経費を余儀なくされています文化芸術活動の発表の場と鑑賞の場を提供するため、文化芸術活動の動画を作成し、袋井市の公式 YouTube チャンネルに、「袋井市オンライン文化祭」と称しまして、11 月末から順次動画を公開しております。

次に、動画制作団体及び内容であります、動画制作そのものが文化活動の一つであることから、市内で様々な動画制作を行っています市民活動団体の「ふくろいどまんなかセンター映像研究部」に依頼しまして、動画を制作しました。出演者は、市内 4 中学校の吹奏楽部、市内高校の文化部、月見の里学遊館やメロープラザの活動団体です。再生回数は、12 月 17 日現在は 704 回ということで、本日、直近の数字を確認したところ 1,284 回まで伸びていました。

次に動画の周知方法であります、市ホームページや広報 1 月号に、オンライン文化祭について掲載するほか、メローネットやコミュニティセンター L A I N での周知に加えまして、出演者や月見の里学遊館やメロープラザなどの公共施設での QR コードを記載したチラシ配布などによる PR により、市民に広く周知して、再生回数を伸ばしていきたいと考えています。

最後に、令和3年度以降の展開であります。参加者からですが、コロナの影響で、発表の場がない中、このような機会を作っていただき、うれしいという声をいただいたことから、今後は各団体において活動内容を動画にして、そのデータを生涯学習課に提出していただければ、随時、YouTube掲載していく予定です。また、各団体がスムーズに動画制作を行えますように、月見の里学遊館やメロープラザの指定管理者や、活動団体の代表対象としまして、今回、動画制作を行った「ふくろいどまんなかセンター映像研究部」によります動画制作の講習会を実施していただく予定であります。

#### [質疑・意見]

##### ●大谷委員

袋井市の公式サイトトップのところ貼れないですか。今は、観光協会、はまぞう、国際課が作っているインターナショナルがありますが、ここに貼っていただきたいと思います。検索してまで見ないので、市民の皆さんが見やすくなるので、教育委員会に言うことではないのですが、お願いします。

##### ●伊藤教育部長

私からもシティープロモーション室に言っておきます。

##### ●大谷委員

よろしく願いいたします。

##### ●瀬川委員

このYouTubeに、外国人向けの生活に必要な日本語講座や優しい日本語講座などがあるといいと思います。

##### ●伊藤教育部長

国際課とシティープロモーション室に合わせて言っておきます。

#### (8) 報第112号 令和3年度袋井市立図書館の休館日の変更等について

##### ●袋井図書館長

本件は、袋井市立図書館条例施行規則第4条第1項及び同条第2項の規定に基づき、休館日の変更及び特別整理期間等を定めたので報告します。

目的としまして、図書館サービスの充実のために、休館日を一部変更することと、資料を適切に管理するための整理期間等を定めるものです。

次に、変更等内容であります。袋井図書館で変更する内容は、月曜日が休館日ですが、図書館サービス充実のため、8月の5日間の月曜日を開館するものであります。

また、特別整理期間として9月25日から9月30日までを休館として、それに関連して館内

整理日として年間 10 日間を定めるものであります。さらに、その他館長が必要と認めた日として、10 月 9・10 日を地域祭典の交通規制等の影響による休館日と定めます。

浅羽図書館では、特別整理期間として 9 月 18 日から 9 月 23 日までを蔵書点検のため休館日とします。館内整理日としては、各月第 4 水曜日のうちの年間 9 日間を休館日とします。

また、月見分室では、特別整理期間を 9 月 14 日から 9 月 17 日までとし、館内整理日としては、各月第 4 火曜日のうちの年間 8 日間を休館日とします。これよりましては、袋井図書館は 295 日の開館日、浅羽図書館及び月見分室は年間 294 日の開館日で、例年並みとなっております。

[質疑・意見]

なし

#### (9) 報第 113 号 幼稚園薬剤師の解嘱又は委嘱について

##### ●すこやか子ども課長

袋井市立幼稚園管理規則第 22 条の規定に基づき、幼稚園薬剤師を次のとおり解嘱又は委嘱しましたので報告します。対象の園は、若草幼稚園であり、前任の村越滋様が退職のため、令和 2 年 10 月 4 日付けで解嘱しました。そのため、令和 2 年 10 月 5 日付で同薬局の石川金伸様を委嘱しました。学校保健安全法第 23 条第 2 項の規定に基づき、学校薬剤師、幼稚園の場合は幼稚園薬剤師を置くこととなっており、市の方でも幼稚園管理規則で、幼稚園薬剤師を置くことを規定しております。

[質疑・意見]

なし

#### (10) 報第 114 号 寄附品の受納について

##### ●袋井図書館長

寄附者は、公益信託西川金一・ゆり子図書助成基金であります。浜松市在住の西川さんが図書館は地域社会にとって必要不可欠なものという信念を持っていた方で、地域社会に寄与したいとの思いで、図書館基金として、県西部 7 市 1 町に図書を寄贈しています。

寄附物件について、袋井図書館に児童用図書 164 冊、20 万 8 千円余、障がい者サービス用機器類で 23 万 7 千円余、浅羽図書館に児童用図書 124 冊、17 万 5 千円余の総額 62 万 2 千円余の

寄附となります。経過としては、平成8年度より寄贈を受けまして、累計1,403万9千円相当となっています。寄附された図書類には、「西川金一・ゆり子図書」のシールを貼って運用しています。

[質疑・意見]

なし

## (11) 報第115号 令和3年袋井市成人式の開催について

### ●生涯学習課長

9月29日の定例会で、成人式の開催について、皆様にはご説明の方をさせていただいたところです。今回は、12月21日に静岡県から成人式の開催市町への感染症予防対策の徹底要請という通知がありまして、対策の徹底要請を受けまして、再度検討しましたので、その対応について、ご説明をさせていただきます。

新型コロナウイルス対策について、参加者へ依頼することは、すでにホームページで告知をしているところでございます。参加にあたっての行動ということで、式典後の行動ということで、特に大勢でのミーティングや懇親会、会食等についても、新型コロナウイルス感染症にかからない、家族や周りの人にうつさないため、十分に配慮して欲しいということで、安全な状況になってから改めて開催することを計画したり、より近い関係の方とお祝いをするなど最小限の人数とすることなどを呼び掛けています。

それから、出席見合わせのお願いということで、当日、出席者カードというのも新成人には提出していただきまして、式典開始前の14日間の健康チェックを行っていただきます。

次に、会場における基本的な感染症対策であります。参加者全員にマスクの着用していただきます。マスクを忘れてしまった場合は、予備マスクを事務局の方で用意しておりますので、そちらを渡して着用してもらおうよう考えております。それから会場入口で手指消毒、体温測定を行います。参加者は当日の来場前に各自で体温測定をしていただきます。会場入口での体温測定で体温が37.5度以上の方は参加不可になります。健康管理であります。参加者へは14日間の健康観察を依頼しています。参加者は来場前に作成した「出席者カード」を受付に提出していただくことになります。それから、3密対策としましては、座席は1つ置きとしたり、入場の際は間隔を空けて列の並びにしていきます。式典終了後は、屋外についても長時間グループで行動しないようアナウンスと声掛けを行っていきます。

次に、式典の運営における対策であります。登壇する主催者、来賓の出席人数を今年はおか

なり絞らせていただきまして、各会場3人とし、実行委員、市、市議会の代表者で進めてまいります。それから、恩師の方々ですけれども、例年は招待していましたが、今年は招待しないで、メッセージ動画を収録して式典中のスクリーンで紹介していきたいと考えています。保護者については、介添者を除き、見学は不可にさせていただきます。インターネットによる式典の生中継、録画の配信ということで、感染予防による参加自粛者や仕事・学業などで参加することができない新成人や保護者、地域の方々が式典の様子を見ることができるよう、生中継、録画の配信をしたいと考えております。

新成人だけではなくて、スタッフの方々につきましても、健康観察シート（2週間）により健康管理を行ったうえで従事するというようにしていきます。着付け直しのスタッフや中学生ボランティアは、今年は募集しません。

次に、県外からの参加につきましては、静岡県が毎週末に、県境を跨ぐ不要不急の移動制限を発表していますので、そういったものを参考に、注意をして参加をしていただくよう呼びかけてまいりたいと考えています。

それから、出席者のエリア制限依頼と開催中止等の決定につきましては、緊急事態宣言が発令、県警戒レベルの引き上げ、袋井市内における感染者数の拡大などを判断基準として、市として出席者のエリア制限の中止や延期を決定するというところで、実行委員会のメンバーの皆様にも、先の委員会では、この辺の説明をさせていただきます。時間的に実行委員会の皆さんの了解を得ることができないことも想定されますので、その場合には、急遽、中止の判断を出すことの了解いただきました。

成人式出席にあたってのお願いということで、昨日、再度の注意喚起をするため、新成人にハガキを出しました。ハガキの内容については、1点目に健康管理の徹底として、ご自身で式典開催前14日間の健康と、当日の体温が37.5℃以上の方は入場できないこと。2点目として、移動や帰省に対しての慎重な判断。3点目として、式典会場での3密を回避した行動として、マスクの着用と距離を保っての交流。4点目として、式典終了後の懇親会や同窓会等は、感染拡大の防止を図るため、家族のみで祝うなど、最小限の人数とすることと、大人数での飲食を伴う集まりは延期や中止するよう注意喚起しました。

最後になりますが、県内の成人式の開催状況であります。県内35市町の中で、現時点での実施が24市町で69%、中止が11市町で31%となります。周辺では、磐田市、掛川市、御前崎市が式典を中止するとしています。本市につきましては、このような対策を行った中で、開催してく予定でありますので、よろしく願いいたします。

●鈴木教育長

周辺が式典を中止する中、本市としては、分散して対策をしっかりと行い開催していきますが、感染状況が厳しくなれば、新たな判断があるという条件付きであります。よろしくお願ひします。

[質疑・意見]

なし

## (12) 報第 116 号 G I G A スクール構想に対応した小中学校の I C T 環境について

### ●教育企画課長

小中学校の I C T 環境の整備完了につきまして、ご報告させていただきます。国の G I G A スクール構想に対応し、11 月末に W i - F i 用タブレット 6,713 台の整備ができて、昨年度に整備した L T E の 1,280 台と合わせまして、約 8,000 人の全児童生徒に 1 人 1 台の学習用タブレットの整備が完了しました。

また、全小中学校の高速大容量通信ネットワークの整備も完了し、1 人 1 台による授業を行う環境が整いました。

これにより、3 学期から授業で活用してまいります。一人ひとりの「個に応じた学び」や児童生徒同士の共同編集、教員と児童生徒との双方向のやりとりなどの「協働的な学び」を充実させまして、主体的に学習に取り組む態度や考える力を育ててまいります。

教員研修の関係になりますが、授業公開研修や学校と同じ I C T 機器を備えた教育会館の I C T 研修室での模擬授業研修などにより、教員の I C T を活用した授業力の向上に引き続き取り組んでまいります。

今回は、小中学校の 1 人 1 台による授業を行う環境が整ったことの報告であります。

2 ページ以降は、授業での活用や教員の研修内容等についての詳細を記載してありますので、ご覧ください。

[質疑・意見]

なし

### ●鈴木教育長

報告事項については以上となります。

## 7 その他

### (1) 連絡事項

- ア 令和2年度 袋井市教育施設等3Rプロジェクトの更新について
- イ 学校給食週間特別企画「mini 袋井市学校給食展」の開催について
- ウ (仮称) 袋井南認定こども園の名称決定について
- エ 令和2年度子ども自然観察教室の実施結果について
- オ 令和2年度 市民文化活動推進事業(静岡理工科大学連携事業)の実施結果について
- カ 第17回袋井市子ども読書活動推進講演会について
- キ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」令和3年1月号

### (2) 次回定例会等の予定について

- ア 第3回袋井市総合教育会議  
1月20日(水) 午後1時30分～ 市役所4階 庁議室
- イ 1月教育委員会定例会  
1月29日(金) 午後1時30分～ 教育会館 ICT研修室

### (3) その他

## 8 閉会

(午後3時00分閉会)